



(1) 国際文化交流学部 3つの学科

日本文学学科では、民俗・歴史、日本語・日本文学、芸術文化・アートマネジメント、現代文化の4つのフィールドから総合的に日本文化を理解し、その伝統と特質について世界に発信する能力を培う。
国際コミュニケーション学科では、国際関係、コミュニケーション、比較文化・地域研究という3つの柱を軸とし、国際社会のあるべき姿や、異文化理解、いかに相互関係を構築するかなどについて学ぶ。

英語コミュニケーション学科では、2年次に全員がカナダのレスブリッジ大学で6カ月間の留学を行うなど、少人数制で高度な英語コミュニケーション力を養うほか、国際社会、国際関係などについて学ぶ。

(2) 海外同時授業

2012年9月にスタートしたプログラムで、日本にいながらにして海外で同時に行われている授業を受講できる。環太平洋地域の社会経済や国際関係を学際的に探求することが目的。リアルタイムで質問したり、学生同士で討論を行ったりと、学生たちは英語で活発に参加している。2023年度からは韓国・誠信女子大学との同時授業開始。

(3) 伝統文化演習科目群

日本の伝統文化について、実技と知識の両面から理解を深めるために用意された共通科目で、全学科の学生が履修可能。著名な講師陣から講義・実技指導を受け、文化的背景から歴史に至るまでの知識も身につけることができる。

(4) f-Campus (5大学間単位互換制度)

学習院女子大学、学習院大学、早稲田大学、立教大学、日本女子大学の5大学が2001年度からスタートさせた、学部レベルでの本格的な単位互換制度。各大学が提供する科目は併せて2000科目以上を数える。

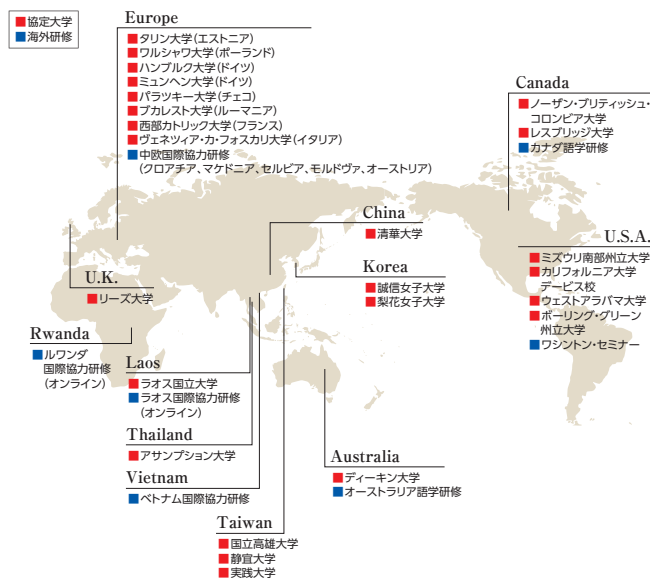
●2023年度開始 新カリキュラムの詳細はこちら



https://gwc-gakushuin.jp/next_stage/

●2023年度開始 新カリキュラムの詳細はこちら
こうしたサポーターを受けた2023年3月卒業生の就職率は99.0%に達し、著名400社への実就職率が全国女子大学

学習院女子大学から世界へ～グローバルネットワーク



2023年度はさらに韓国の誠信女子大学との海外同時授業を秋学期から開始し、異文化体験の機会をさらに強化します。その他にもジェンダー研究の多面性・多様性を扱う

「ジェンダー・スタディーズ」、国際機関OEC D専門官による講義を受けられる「指標による国際比較」、多様な視点から日本を深掘りする「日本研究のトピックス」があります。

これらは一例でしかありません。一つのテーマについて学際的・複眼的な講義を行うことができるのは、小規模な大学であるにも関わらず、世界とのつながりを持っている実務・研究両面の多彩な専門分野を持つ教員が、学生の学びのために協力できる体制がある学習院女子大学ならではのものです。学生たちは、これらのプログラムを通して、異文化理解や課題解決のための視点を養うことができます。

第三の教育の特徴は、「小規模校ならではのきめ細やかで丁寧な指導」です。1〜2年生の基礎演習、3〜4年生の専門演習においても、各学年10名程度というお互いが分かる集団の中で、探求的で協働的な学びを深めていきます。学生と教職員との距離も近く、学生生活を満喫できる絶好の環境が整っています。

1位(卒業生500人以下の大学、大学通信調べ)など、高い成果を収めています。

「丁寧な指導ときめ細やかなキャリア就職支援」

第三の教育の特徴は、「小規模校ならではのきめ細やかで丁寧な指導」です。1〜2年生の基礎演習、3〜4年生の専門演習においても、各学年10名程度というお互いが分かる集団の中で、探求的で協働的な学びを深めていきます。学生と教職員との距離も近く、学生生活を満喫できる絶好の環境が整っています。

この一人ひとりを大切にしながら丁寧な指導は、教職や図書館司書といった資格の授業やキャリア就職支援などについても同様です。

近年、大学の「就職力」がより重視されるようになっていますが、学習院女子大学では学生一人ひとりに合わせたキャリア育成を徹底してサポートし、高水準の就職力を誇っています。1年次から3年次の各学年に応じたプログラムに加え、学生の状況に応じて随時セミナーを企画・実施。個別面談や進路決定者によるキャリアアドバイザー制度などサポート体制も充実しています。

こうしたサポーターを受けた2023年3月卒業生の就職率は99.0%に達し、著名400社への実就職率が全国女子大学



おおもとしゆき 大桃敏行学長
1977年東北大学教育学部卒業。83年東北大学大学院博士後期課程単位取得退学。専門は教育行政学、教育制度論。東北大学教授、東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長などを経て、2021年より現職。

「既存の授業にとらわれない学びを提供する多文化学際科目群」

「既存の授業にとらわれない学びを提供する多文化学際科目群」

「既存の授業にとらわれない学びを提供する多文化学際科目群」

学習院女子大学

〒162-8650 東京都新宿区戸山3-20-1 入試係 TEL 03-3203-1906 <https://www.gwc.gakushuin.ac.jp/>

学習院女子大学は1998(平成10)年に開学したりベラルアーツ型大学ですが、その歴史は1877(明治10)年に開設された学習院や、1885(明治18)年創設の華族女学校にまで遡ります。

開学当初から時代を先取りした「国際文化交流学部」を設置し、一貫して国際化を見据えた教育を実践。日本の伝統文化を含む多様な文化や異文化理解などの開講科目に加え、体験型の海外研修などにより、グローバルな人材を育成しています。

2023(令和5)年度からは「データサイエンス教育プログラムの新設」「国際的・学際的な学びの強化」「探求的で実践的な学びの深化」の3つの柱からなる、新たなカリキュラムを開始。予測困難な時代を生き抜く力を育てていくことを目指します。

データサイエンス×国際・学際×探求で 予測困難な時代を生き抜く力を持った グローバルに活躍できる人材を育成

「地球的視野で物事を考察するグローバル人材を育成」

学習院女子大学は、新宿にもほど近い利便性のよい場所にありながら、緑豊かなキャンパスを誇っています。開学当初からグローバル時代を先取りした「国際文化交流学部」を設置し、現在はその中にアプローチの異なる3つの学科がある日本文化学科、国際コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科を設けています。それぞれの学科が高い専門性を有していますが、3学科を貫く共通の目的は「関連諸学問に対する高い識見を有するとともに、豊かな教養と地球的視野を持ち、文化の交流と相互理解を通じて国際社会に貢献できる人材の育成」です。

「実践的・体験的プログラムで国際化を強力に推進」

「実践的・体験的プログラムで国際化を強力に推進」

「実践的・体験的プログラムで国際化を強力に推進」

「実践的・体験的プログラムで国際化を強力に推進」

「実践的・体験的プログラムで国際化を強力に推進」